

あま市発足後、空席となっていた副市長に、山田登志男氏（50）を選任することに同意しました。山田氏は、県総務部

を退職し、市の副市長に就任するものです。

問 愛知県は、数人の副知事がいて、それぞれの委任を受けた事務について行っていますが、当市でも、そのようにしますか。



山田登志男氏

あま市の副市長を選任

高いレベルでの政策判断を

市町村課からの派遣職員で、これまで旧3町の合併協議会事務局参事や、あま市の参事も勤められたました。このたび県職

企画財政部長 副市長は市長の権限に属する事務の一部について委任を受け、その事務を執行するという規定があり、市長の判断を仰ぐことなく、副市長みずから、権限と責任においてその事務を執行することができません。しかし委任事務を明確にしている市は、少な

いのが実態です。

問 副市長は、特別職の給与体系を見ても、相当高額な人で、市長の次だと思えます。今、一般職の時間外労働の状況を見ても、高額の人の給料を割れば3〜4人の職員が配置できるのではないですか。

企画財政部長 8万8000人の市としての行政を行っていく上には、いろいろな分野で決断や、高いレベルでの判断を求められる場面が出てきます。市長と一緒に政策判断をしていくのは、副市長の職務であり、お金の多寡によって判断するものでなく、職員の負担は別に考える部分と思っています。

下市報公刊

題字作者のご紹介

議会だより創刊号より掲載の、表紙に使われている

「あま市議会だより」のロゴ（装飾化、デザイン化された文字）は、名古屋で書道家としても活動されている南マナブ（菊池学）先生のご好意により版權とさせていただきます。

独特で個性的なロゴは、ブランド要素の一つで、ブランドネームを表す字体となります。南先生は、数々

のブランド品の字体を手がけておられます。

あま市の議会だよりも、市民の皆様にご愛読されるようなわかりやすい紙面づくりを目指し、活発な議会活動をお知らせし、ひいては、一住み続けたくなる、ブランドあま市の発展を願っています。この紙面をお借りして厚く御礼申し上げます。

